

平成16年4月1日

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成16年3月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年3月は下記のとおり12件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：日本ボルボ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月4日	外-1088	車名：ボルボ 型式：不明 通称名：ボルボFH12等	50	平成15年10月17日～ 平成15年12月5日
不具合の部位等	かじ取り装置のドラッグリンクの取付けナット部に割りピンが取り付けられていないものがあり、ステアリング操作の繰り返しにより当該ナットが緩むことがある。そのため、当該取付け部にガタが発生し、そのまま使用を続けると、ドラッグリンクが脱落してかじ取り操作ができなくなるおそれがある。			

## 2. 届出者：日本ゼネラルモーターズ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月5日	外-1092	車名：サーブ 型式：GH-FB207 通称名：9-3	2	平成15年10月27日
不具合の部位等	運転者席及び助手席の背もたれのロック機構の取付位置が不適切なため、ロック機構が正常に作動しないものがある。そのため、衝突時等により背もたれに大きな荷重がかかった場合、背もたれが前方に倒れるおそれがある。			

## 3. 届出者：ハーレーダビッドソンジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月16日	外-1095	車名：ハーレーダビッドソン 型式：DDV等 通称名：FLHTエレクトラグライド・スタンダード等	56	平成11年11月18日～ 平成15年8月8日
不具合の部位等	ディーラー・オプションのプレミアム・オイルクーラーキット装着車において、オイルホースの取り回しが不適切なため、当該ホースが原動機の振動によりクランクケースと干渉して摩耗することがある。そのため、当該ホースが破損してエンジンオイルが漏れるおそれがある。			

## 4. 届出者：ハーレーダビッドソンジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
3月16日	外-1096	車名：ハーレーダビッドソン 型式：GNW 通称名：FXDL1ダイトライダ-	26	平成15年10月14日～ 平成15年12月26日
不具合の部位等	電子制御式燃料噴射装置仕様車において、燃料タンク下部の接続金具と燃料ホースとの接着が不適切なため、そのまま使用を続けると、当該接着部が外れて燃料が漏れ、最悪の場合、車両火災に至るおそれがある。			

## 5. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月18日	1053	車名：三菱 型式：GD-U62T 通称名：ミニキャブ	4	平成11年2月2日～ 平成11年7月29日
不具合の部位等	燃料注入口の減圧弁付燃料フィルターキャップにおいて、減圧弁の構造に一部不適切なものがあるため、そのままの状態で使用を続けると、減圧弁の気密性が損なわれ、最悪の場合、当該減圧弁よりより燃料が漏れるおそれがある。また、燃料注入口（フィルターネック）内ガイドの溶接位置に一部不適切なものがあるため、対策弁付のフィルターキャップを装着すると、フィルターネックとの気密が確保出来なくなるものがあり、燃料が漏れるおそれがある。			
備考	本届出は、平成12年8月22日リコール届出を行い、平成12年9月7日にリコール届出変更を行った「届出659」において、不具合に対する改善措置用部品の一部に異品が混入したため、再度届出を行い対策を実施するものである。			

## 6. 届出者：株式会社日本除雪機製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月18日	1054	車名：ニッセキ 型式：R11A 通称名：HTR50	6	平成12年10月15日～ 平成13年10月31日
不具合の部位等	原動機の調速機内フライウエイト支持ピンの強度が不足しているため、高回転、高出力の使用により当該ピンに亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該ピンが破断、フライウエイトが脱落し、調速機構部品と干渉して原動機が停止し、再始動できなくなるおそれがある。			

## 7. 届出者：日本フルーフ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月23日	1049	車名：フルーフ 型式：DFPDF241A等 通称名：-	74	平成9年12月18日～ 平成12年6月16日
不具合の部位等	エアサスペンション装着セミ・トレーラにおいて、スプリングシート（車軸の上に取付けられたスプリング用台座）の剛性が不足しているため、車軸の一部に過大な力がかかり、車軸に亀裂が入るものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該車軸が破損し、走行不能となるおそれがある。			

## 8. 届出者：富士重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
3月23日	1052	車名：スバル 型式：GF-BH5等 通称名：レガシイ	31	平成11年12月8日～ 平成15年3月22日
不具合の部位等	オートクルーズ装着車において、作動用ケーブルの外れ防止用フックに隙間があるため、アクセルペダルを踏み込んだ際に、オートクルーズレバーの溝から作動用ケーブルが外れることがある。そのため、外れた作動用ケーブルが当該フックに乗り上げた場合、アクセルペダルを戻してもエンジン回転が下がらなくなるおそれがある。			

9 . 届出者：フィアットオートジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
3月25日	外-1098	車 名：アルファロメオ 型 式：GH-932AXA等 通称名：アルファ 156 2.0 JTS等	26	平成15年4月22日～ 平成15年5月14日
不具合の部位等	右ハンドル車において、ブレーキマスターシリンダとブレーキパイプを接続するブレーキパイプ・アダプタに異なった部品が取り付けられているため、走行時の振動によりブレーキパイプとパワーステアリングホースブラケットが干渉するものがある。そのため、ブレーキパイプが損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れて制動力が低下するおそれがある。			

10 . 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月30日	1057	車 名：三菱 型 式：F37 通称名：三菱フォークリフト	2	平成15年10月30日～ 平成15年12月24日
不具合の部位等	揺動機構を持つ後軸取付部において、揺動ストッパの取付位置が不適切なため、凹凸の激しい路面で使用を続けると、後軸を車体に固定するための取付用プレートに過大な荷重が加わり、当該プレートが変形し、取付ボルトが緩むことがある。このため、最悪の場合、取付ボルトが脱落し、当該プレートが外れ、後軸が車体から外れて走行不能に至るおそれがある。			

11 . 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月30日	1058	車 名：三菱 型 式：F25C 通称名：三菱フォークリフト	2	平成15年7月16日～ 平成15年9月25日
不具合の部位等	揺動機構を持つ後軸取付部において、揺動ストッパの取付位置が不適切なため、凹凸の激しい路面で使用を続けると、後軸を車体に固定するための取付用プレートに過大な荷重が加わり、取付用プレートが変形して後軸取付部にガタが生じ、揺動角が大きくなることもある。このため、最悪の場合、一部の仕様の車両において左右安定度が確保できなくなるおそれがある。			

12 . 届出者：株式会社矢野特殊自動車

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
3月30日	1059	車 名：アロー等 型 式：ASYC006等 通称名：-	39	平成5年2月2日～ 平成12年10月26日
不具合の部位等	走行装置において、車軸の補強板とエア配管用当板の溶接が不適切なため、当該溶接部に亀裂が入るものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合車軸が折れ曲がり、走行不能となるおそれがある。			

〔参考〕

平成16年3月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	14件	7件	7件
輸入車	10件	5件	5件
計	24件	12件	12件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室 森田、久手  
 電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）